



**2020-2021**  
**No.1621**  
**2020.10.15**

会長：山田 晃 幹事：高橋昭紀  
 会員数：45 会場出席：27 欠席：18  
 出席率：60.00% 前々回出席率：82.22%  
 点鐘：山田 晃 会長 司会：武井順一 SAA  
 ロータリーソング：我等の生業（タクト：小林照夫）  
 例会場：ホテルペラヴィータ 3F 12:30～

### お客様

郷土研究者・沼須人形芝居あけぼの座九代目座長  
金井竹則 様

### 会長の時間

山田 晃 会長



各種新聞に、コロナ禍なのに死者総数は減少、という記事が載っています。

そしてまた利根沼田管内でコロナ陽性者が出ました。出たこと自体を問題にしているのではなく、犯人探しをする風潮について、コロナが怖いのではなく感染後の風評被害が問題であります。特に医療関係者は、ロータリーを含めこのような会合に出ることを躊躇することが多く、ウェブでの会議や講演になっています。当クラブでも、ウェブで例会ができるように高橋幹事に指示しました。

また私自身も職員には、人と会うために東京や埼玉方面に行く事はしないでほしいと伝えました。

草津温泉RCの祝賀行事に出席するとしても、同乗者なしの自分の車でいこうと思います。

前々から意見があれば携帯やメールで伝えてほしいと述べていましたが、ある意見が寄せられました。それをここで披露し、理事会で検討したいと思います。

内容は、例会の食事は弁当にして持ち帰るべきではないかとのことです。また例会休会日に弁当を発注し、恵まれない家庭に配るべきではないか、またその発注業者も、売上が激減している飲食店を利用して応援したいとのことでした。会員の皆様いかがでしょうか。ロータリーの公共イメージアップにも繋がると思います。これは本日の公共イメージ委員会の炉辺会議と理事会で検討したいと思います。

次に、次年度のガバナー補佐(AG)選任について小見山第5分区分ガバナー補佐から依頼がありました。選任方法についてもご意見があれば私までご連絡ください。

最後に35周年行事についてですが、委員会構成を含めコロナの状況を見ながら関係当局と話をしながら着実に進めています。次回例会までに35周年実行委員会を開き、ご報告を致します。

### 幹事報告

高橋昭紀 幹事



- ①毎月のガバナー月信のチラシを配布しましたのでご覧下さい。今月号のガバナー月信には、我がクラブのメンバー4人が新入会員として紹介されています。
- ②計報が届いております。米山記念奨学会の理事として長きにわたりお力を注いでこられた館林RCの高木貞一郎様がお逝去されました。
- ③沼田中央RCに第5分区分のガバナー補佐選任依頼が届いています。
- ④11月19日は例会場変更となります。職場訪問のため、内田病院にて17時からとなります。
- ⑤先日の例会で、電子ピアノの購入が確定しました。
- ⑥他クラブの例会変更が届いております。(前橋RC・前橋北RC・前橋南RC・安中RC)
- ⑦次週例会は休会です。

### 出席報告

関 美津男 委員



### タクト 小林照夫 会員





山田 晃・高橋 昭紀

本日は、郷土研究家の金井竹徳にはお忙しいにも関わらず卓話に出向いて頂きありがとうございます。また9月1日からは沼田市文化財調査委員として、今後のご活躍を祈念致します。

#### 國府田 坦

金井竹徳さんのご来訪を歓迎します。卓話を楽しみにしています。

今月は『ロータリーの友』の解説をします。

#### 小林 照夫

- ①沼田市文化協会会長、柳波調査研究会、あけぼの座座長の金井竹徳さんの来訪を記念して。
- ②津久井さん、先日はキャベツ・レタスありがとう。おいしかったよ。またお願いします。

#### 北野 浩司郎

先日行われたインカレの水泳大会で、明治大学が2年振り7度目の総合優勝を飾る事が出来ましたので、ボックスインします。スーパースターはいませんが、水泳も強いんです。

#### 小曾根 一雄

本日の卓話者、金井竹徳さんに感謝を込めて。楽しみにしております。ありがとうございます。

#### 本山 佳宏

金井竹徳先生、本日は卓話者としてご来訪頂きありがとうございます。お話、楽しみにしています。

#### 石坂 一男

家内の誕生日にきれいなお花をありがとうございました。

### 奉仕プロジェクト委員会より

見城登志雄 委員長



本年度の各種寄付の依頼です。米山記念奨学・ロータリー財団・沼田中央ロータリークラブ育英奨学について、引き続き会員の皆様にはご協力の程宜しくお願い申し上げます。



### 本日の卓話



小曾根一雄 会員より紹介

郷土研究家・沼須人形芝居あけぼの座九代目座長  
金井竹則 様

#### 『沼須人形芝居 あけぼの座』について

安政年間(1854～1859)に、阿波の旅芸人一座により伝えられ技術が伝承された。明治～大正時代には、三味線、義太夫語り、人形操作をする金井座として活動。その後、芸事の統制などあり盛衰を繰り返し細々と継承。昭和27年に利南村廃村記念公演。昭和49年、沼田市文化財候補として調査。復活の機運。昭和51年に沼田市指定民俗文化財に指定。保存会が結成される。それ以降は定期公演を主に、年20回程の公演活動を行う。

人形は一人遣い。背中差し込みの立ち遣い。はさみ式の豆人形。黒衣の陰遣い。三味線・語り・人形の三位一体。演目は「式三番叟」「傾城阿波の鳴門」「日高川入相花王」「絵本太閤記」「菅原伝授手習鏡」「壺坂壺験記」「小松姫物語」。

現在の座員は25名(子供10名)だが、大人座員の高齢化と道具の傷みが課題となっている。